

平成22年12月15日

指定管理者の指定について（練馬区立関町リサイクルセンター等）

1 内 容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立関町リサイクルセンター、春日町リサイクルセンターおよび豊玉リサイクルセンターの指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

団体の名称

練馬区立リサイクルセンタープロジェクト

構成団体（代表） 株式会社 キャリアライズ
（東京都中央区八重洲一丁目3番22号）

構成団体 尾瀬林業株式会社
（東京都荒川区西日暮里二丁目25番1号）

構成団体 株式会社 コングレ 東京本社
（東京都千代田区麴町五丁目1番地 弘済会館ビル）

構成団体 株式会社 東急コミュニティー
（東京都世田谷区用賀四丁目10番1号）

所在地

東京都中央区八重洲一丁目3番22号

代表者

株式会社 キャリアライズ 代表取締役 遠藤 卓実

3 指定の期間

平成23年4月1日から平成28年3月31日まで（5年間）

4 選定の経過

平成22年4月28日 第1回指定管理者選定小委員会

- (業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価基準、指定期間終了の指定管理者に対する最終総合評価の審議)
- 5月7日 第2回指定管理者選定小委員会
(業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価基準、指定期間終了の指定管理者に対する最終総合評価の審議)
- 5月17日 第1回練馬区指定管理者選定委員会
(業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価基準、指定期間終了の指定管理者に対する最終総合評価の報告)
- 6月17日 平成22年第二回練馬区議会定例会
(練馬区立リサイクルセンター条例改正案議決)
- 6月24日 第3回指定管理者選定小委員会
(指定管理者募集要項等の審議)
- 7月2日 第4回指定管理者選定小委員会
(指定管理者募集要項等の審議)
- 8月1日 ねりま区報およびホームページで公募、募集要項配布開始
- 8月18日 応募説明会(参加団体数22)
- 8月19日 施設見学会(参加団体数21)
- 8月26日 応募書類受付(応募団体8)
- ~9月1日
- 9月16日 経営診断委託
- 10月2日 第5回指定管理者選定小委員会
(プレゼンテーションおよび応募団体の評価、採点)
- 11月4日 第3回指定管理者選定委員会
(応募団体の審査、指定管理者候補の決定)

5 選定の理由

選定に当たっては、応募団体の企画書、プレゼンテーションの内容、経営診断その他提出書類を評価した結果、当該団体については、練馬区立関町リサイクルセンターほか2館を運営するに当たり、以下の点が優れていると判断した。

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者を加えて評

価を行った。

団体の安定性・継続性

該当団体を構成する法人の経営の安定性については、経営診断の結果、自己資金比率、資金力等が良好であると判断されること。

団体運営の透明性・公正性

該当団体を構成する法人は、ともに個人情報保護規程が整備されており、また、給与規程、就業規則等を備えており、団体運営の透明性の向上に取り組んでいること。

団体運営における法令等の遵守状況

企業倫理を遵守する企業倫理委員会を設置し、企業倫理遵守徹底に向けた教育を推進し、職員間のコミュニケーションの活性化に努める提案があること。

また、職員が業務についての法令等を的確に遵守するための研修などによるコンプライアンス機能の強化、徹底した業務のセルフモニタリングを実施するなど、企業倫理に関する職場環境の保全に向けた取組があること。

構成団体のひとつである株式会社東急コミュニティーについては、本年3月の他の部門での社員の不祥事を社内監査により自ら発見・公表し、速やかな調査と結果の公表、再発防止措置などその後の対応も的確かつ迅速に実施していることから、社内コンプライアンス機能の実効性が十分確保されているものと評価した。

運営実績

指定管理者および自己運営施設や管理委託施設として、都内および近県で類似の施設などを数多く運営管理を行っていること。共同事業体の代表者の株式会社キャリアライズは、川崎市男女共同参画センターの指定管理者として、ボランティアの確保、育成など施設運営の中でボランティアとの良好な協働を推進していること。

効率的運営・効率化への取組

リサイクルセンターの設置目的を踏まえ、単なるコスト縮減を図るだけでなく、メリハリをつけたコスト配分についての提案があること。具体的には、サービスと事業の質につながる「人件費・事業費」については重点的に予算を確保しつつ、「維持管理費」については3館を一体的かつ効率的に運営することによってコスト縮減を図る提案があること。

また、収支計画を上回る収入額があった場合は、指定管理者の利益とはせず、事業実施などにより区民に還元する提案があること。

受託への熱意・意欲

高い専門性とネットワーク、豊富な経験を有する共同事業体として、環境教育プログラムや自然学習フィールド、さらには環境分野の団体等や有識者とのネットワークを活用した企画をリサイクルセンターの事業として導入する強い熱意があること。

また、様々な世代のボランティアを活用し、新しい事業や施設運営に参画できる制度の確立と機会の提供を図っていくなど、ひらかれたリサイクルセンターの管理運営に意欲があること。

施設管理の安全性への配慮

危機管理システムの導入、事故や災害発生の要因等の検証、危機管理体制の責任分担の明確化、業務内容や点検方法の見直しや、事故や災害等の発生の回避・低減に取り組む提案があること。

また、危機管理システムの内容については、定期的モニタリングを実施し、システムの適正な運用を確認する提案があること。

施設管理運営体制

リサイクルセンターの基本方針や施設の設置目的を認識しつつ、区としての方向性を踏まえ、区民の自主的な環境活動を推進するため、区民が運営に参画できる施設とすることを掲げていること。

また、新たな区民ボランティアの参加を図るとともに、これまで活動してきたボランティアや講師とも良好な関係を築き、多様な経験・ノウハウを生かしていく提案があること。

共同事業体の構成団体それぞれの役割についての提案があること。具体的には、代表者の株式会社キャリアライズは、代表としてリサイクルセンターの管理運営業務の全般を担い、ボランティアの育成と協働を図ること。また、構成団体の尾瀬林業株式会社は、「東京電力自然学校」の運営実績からの環境学習事業を担い、構成団体の株式会社コングレは、財団法人科学技術広報財団との連携による環境学習事業を提供し、施設におけるトラブル対応などの運営面においても代表者を全面的にバックアップする方針であること。構成団体の株式会社東急コミュニティーは、数多くの建物管理運営実績により蓄積された建物管理運営のノウハウを活用し、安全かつ効率的な建物管理運営を行うこと。

利用者への対応（接遇を含む）

利用者からの苦情を解決するための規程が整備されていること。

また、リサイクルセンター独自の「接客・接遇マニュアル」を策定し、全職員がこのマニュアルに基づく接遇研修を受講し、利用者を不快にさせない言葉遣いや身だしなみ、態度などを学び、利用者満足度の高い対応を実現していく提案があること。具体的には、利用者への挨拶、職員はユニフォームと名札の着用や職員のプロフィールの掲示、施設利用方法をわかりやすく表示すること。

人権擁護や虐待防止への取組について職員研修に取り入れるなど、利用者の人権尊重を重視していること。

職員の育成

研修のプログラムについては、職員階層ごとの研修への参加や、責任者クラス（施設長など）のマネジメント研修を実施していく提案があること。具体的には、新任研修（４種類）・全体研修（８種類）・管理者研修（５種類）を実施するなど充実を図っていること。

また、研修と共に、より良い職場環境の構築に向けた取組を提案していること。

団体の理念・姿勢

共同事業体の各法人の基本理念や経営理念を実現するため、リサイクルセンターの管理運営を行う中で、利用者に対するサービス向上や多様な区民ニーズに応えていく姿勢があること。

また、共同事業体のそれぞれの法人の理念を指定管理業務に生かすため、全職員に対して周知・徹底を図っていること。

区内事業者の活用・区民雇用の促進等

リサイクルセンターが区立施設として地域経済活性化(地域雇用)の促進に寄与するために、配置する職員の採用に当たっては、優先的に区民を採用することや区内高齢者、障害者の雇用促進にも取り組む姿勢があること。具体的には、３つのリサイクルセンターに従事する臨時職員の８割は区民から雇用する提案があること。講座・教室等の事業を行うために、区民ボランティアの活用および育成支援を考えていること。現在の指定管理者団体の会員の申出を受けて、優先的に区民ボランティアとして登録を実施する意向があること。

また、区内の地域経済活性化に寄与できるように、委託を予定している業務や消耗

品等の物品の調達については、区内事業者を優先的に委託・調達する方針であること。

リサイクルセンターにおける管理業務運営および事業等の提案

環境学習プログラムには、区民の育成や団体の活性につなげていくための「成長支援プログラム」の提案があること。具体的には、環境というテーマの下で、STEP 1 として興味や関心をひきやすい人気講座による来館促進を目的とした事業の実施により、来館を促す。STEP 2 としてSTEP 1 の事業経験者を講師に迎え、学生や子ども向けの事業を実施し、区民同士の交流を図る。STEP 3 として区民活動団体を対象にイベントに向けた準備作業など、グループ単位での課題を設定し、個々人の交流から組織としての目標に向けた活動機会に発展させること。

リサイクルセンターの運営に区民ボランティアが積極的な参加を促すための連携・協働の提案があること。具体的には、各施設長が企画担当者や区民ボランティアと協働しながら、区民活動の活性化を担う「学習コーディネーター」として、区民の活動を支援するとともに、学校・企業などの区内関係機関・施設との連携を強化していく提案があること。

環境学習やリサイクルセンターの利用促進に向けた活動の一つとして、財団法人科学技術広報財団との連携により日本科学未来館で培ったネットワークを生かして、サイエンス・コミュニケーターを直接、学校などの施設に派遣し、出前講座などを行う提案などがあること。

区の「環境基本計画」、「リサイクル推進計画」などの環境政策を理解し、リサイクルセンターの事業に取り入れていく提案があること。

6 問合せ先

環境まちづくり事業本部環境部清掃管理課普及啓発係

電 話 03 - 5984 - 1448

F A X 03 - 5984 - 1227

指定管理者選定（練馬区立リサイクルセンタープロジェクト）の審査結果（練馬区立関町リサイクルセンター等）

1 評価項目・評価基準（細目）

評価項目・評価基準	配点	得点
1 団体の安定性・継続性 (1) 委託費のみに頼らない自主的運営努力の有無 (2) 事業効率の状況 (3) 資金力の有無 (4) 借入金の返済能力の有無 (5) 経営の安全性	5点	4点
2 団体運営の透明性・公正性 (1) 個人情報保護制度の有無、または、制度化する意思の有無 (2) 情報公開制度の有無、または、制度化する意思の有無	5点	4点
3 団体運営における法令等の遵守状況 (1) 法令等の遵守状況（労働関係法令の遵守を含む） (2) 理事会・役員会などの構成の適正性 (3) 理事会・役員会などの定期的開催	5点	4点
4 運営実績 (1) 同種の施設を運営するに足る実績の有無 (2) 既に運営している施設の状況 (3) 過去のトラブルへの対応状況	5点	4点
5 効率的運営・効率化への取組み (1) 人員配置の適正性 (2) 多様な雇用形態の職員を配置する工夫の状況 (3) 再委託の範囲の適正性 (4) 事業計画と収支計画の適正性 (5) 経営努力に関する提案内容	10点	6点
6 受託への熱意・意欲 (1) 施設設置目的との整合性 (2) 具体的で独創的な提案の有無	5点	4点
7 施設管理の安全性への配慮 (1) 日常的な点検体制の有無・程度 (2) 危機管理体制の有無・程度 (3) 管理上の不具合や小さな問題の区への報告に関する姿勢	5点	4点
8 施設管理運営体制 (1) 現在のサービス水準の維持 (2) 施設に関する区の計画・方針に対する理解 (3) 練馬区環境方針、災害時の対応等、区の方針・事業に対する協力 (4) 併設施設との連携（併設施設がある場合は、この評価基準を加える）	10点	8点
9 利用者への対応（接遇を含む） (1) 苦情解決体制の有無、または、設置の意思の有無 (2) 利用者への公平公正な対応 (3) 利用者等の人権に対する姿勢 (4) 職員の接遇に関する取組み	10点	8点
10 職員の育成 (1) 職員に対する研修体制	5点	4点
11 団体の理念・姿勢 (1) 団体の基本理念・経営理念の明文化とその内容 (2) 団体の基本理念・経営理念の職員・利用者への周知	5点	4点
12 区内事業者の活用・区民雇用の促進等 (1) 区内事業者である (2) 区民雇用の促進（非常勤・臨時職員を含む） (3) 再委託における区内事業者の活用 (4) 物品の区内業者からの調達	20点	16点
13 リサイクルセンターにおける管理業務運営および事業等の提案 (1) 3施設（関町、春日町、豊玉）の管理業務および事業等の統括業務 (2) 利用者ニーズに対応するための提案内容 (3) 新規事業等による質の高いサービス提供に向けた提案内容 (4) 運営協議会等を設置し地域に開かれた運営の内容 (5) ボランティアの育成と活用	10点	8点
合 計	100点	78点